

(五枚のうち一)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の問一～問五に答えなさい。

問一 次の図版①～⑤に書かれている字をそれぞれ常用漢字で書きなさい。



問二 次のア～オの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

ア 鋒鋦 イ 博文 ウ 聯落 エ 俯仰法 オ 卷子本

問三 次のア～カは書道に関連のある語です。それぞれ簡潔に説明しなさい。

ア 剛毫 イ 印影 ウ 宿墨 エ 手鑑 オ 節筆 カ 方筆

問四 拓本の採り方に乾拓法及び湿拓法があります。どのような方法ですか。それぞれ簡潔に説明しなさい。

問五 行書の特徴を三つ書きなさい。また、その特徴がよく分かるような漢字一字をそれぞれ行書で書きなさい。

□ 次の問一～問五に答えなさい。

問一 次の図版は顔真卿の「顔氏家廟碑」の一部です。「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆法が用いられています。「蚕頭燕尾」とは、どのような用筆法のことですか。簡潔に書きなさい。

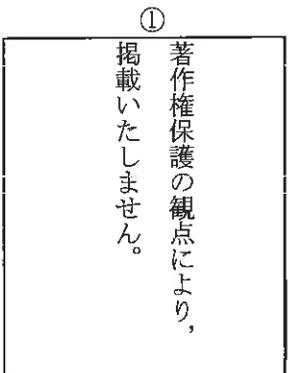


(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問二 次の写真①は西周時代の「大孟鼎」と呼ばれる鼎で、神や祖先を祀る儀式に用いられた青銅器です。また、図版②は、「大孟鼎」の銘文です。後のア・イに答えなさい。



ア 神や祖先を祀る儀式において、「鼎」はどのような用途で用いられましたか。簡潔に書きなさい。

イ 「大孟鼎」の銘文の書風の特徴を簡潔に書きなさい。また、「大孟鼎」の銘文にはどのような内容が書かれていますか。簡潔に書きなさい。

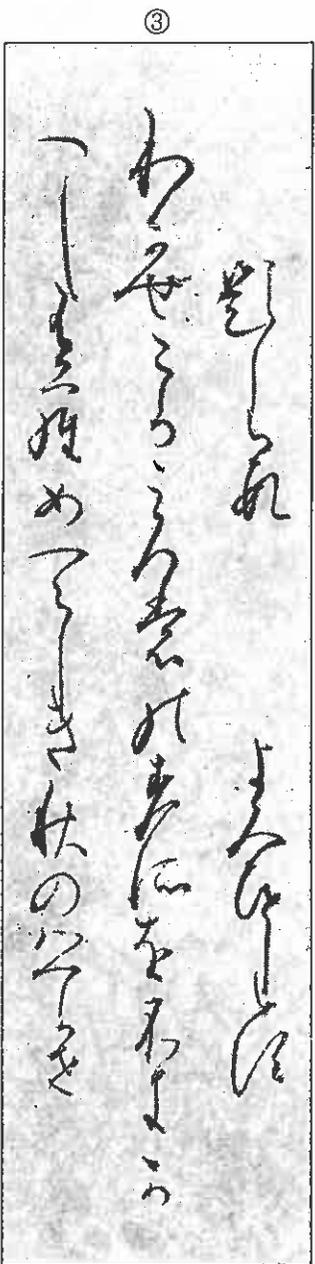
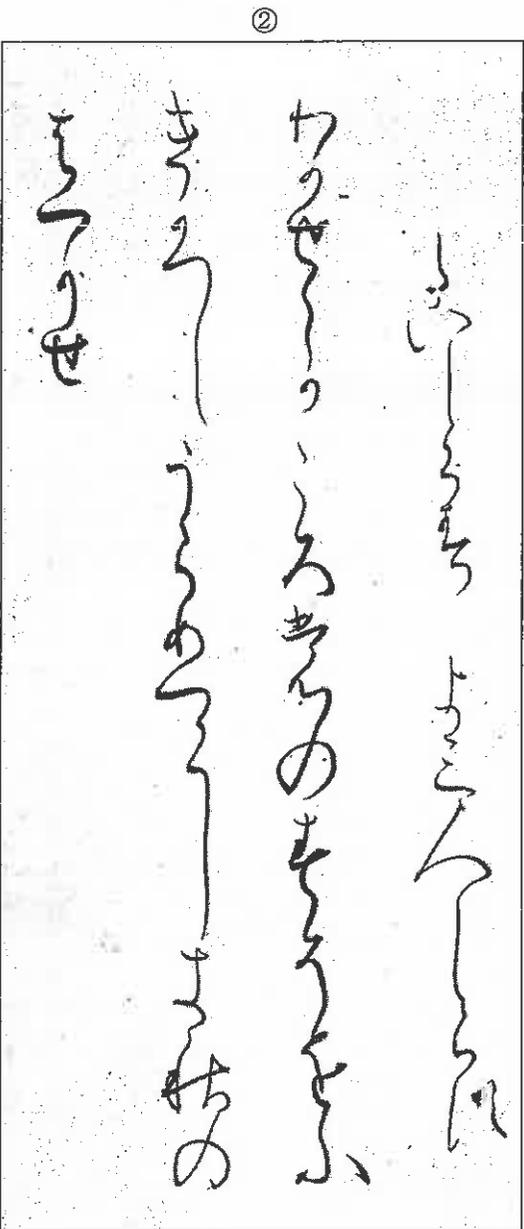
問三 次の図版は「曹全碑」の一部です。この図版を用いて、隷書用の筆法について指導することとします。どのようなことを指導する必要がありますか。「横画」「縦画」「波磔・払い」「転折」の観点について、それぞれ簡潔に書きなさい。



(五枚のうち四)

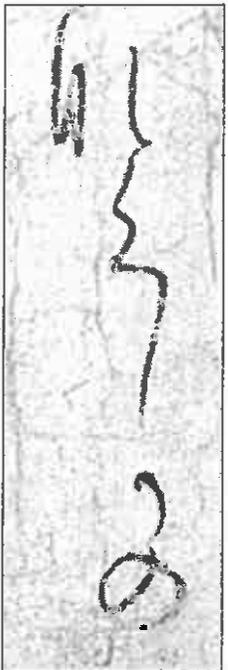
受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)



問一 図版①について、次のア～エに答えなさい。

- ア 書跡名を書きなさい。
- イ 図版①に書かれている歌について、歌の大意を書きなさい。
- ウ 次の図版は、図版①を拡大したものです。図版中の仮名について、その字源をそれぞれ楷書で書きなさい。



(図版①の一部分を拡大)

エ 書風の特徴を簡潔に書きなさい。

問二 図版②・③について、次のア～イに答えなさい。

- ア 図版②・③は古今和歌集を書写したものです。書跡名をそれぞれ書きなさい。
- イ 「書道I」の授業において、図版②・③を比較する鑑賞の学習を指導することとします。それぞれの特徴を踏まえ、生徒にはどのような点に気付けさせる必要がありますか。簡潔に三つ書きなさい。

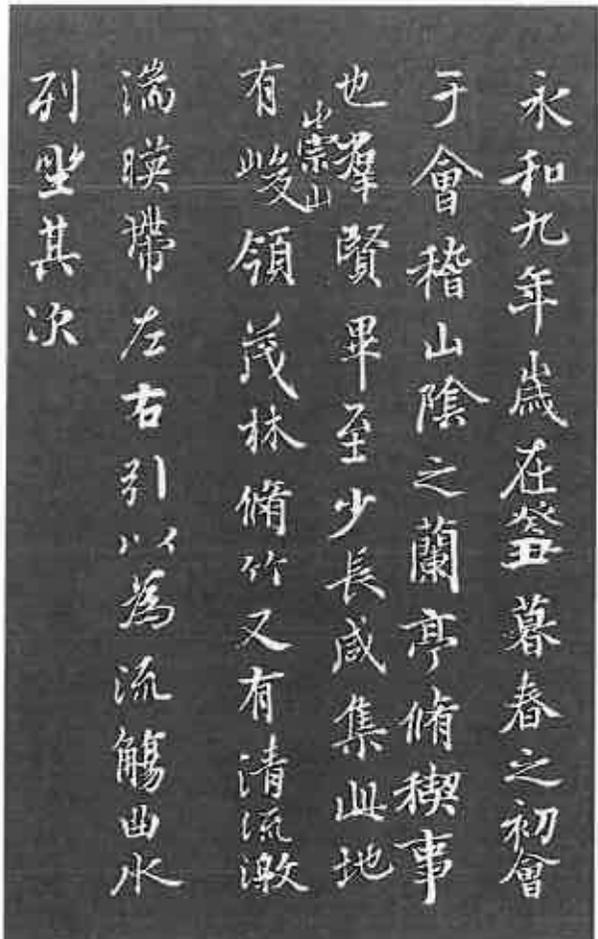
高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

四 次の図版は、「蘭亭序」の一部です。この文章の大意を書きなさい。



五 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅱ 2 内容 A 表現 (3) 仮名の書 ウ には、「表現形式に応じて、全体の構成を工夫すること。」と示されています。次の問一・二に答えなさい。

問一 伝統的な「表現形式」の一つに色紙があげられます。伝統的な表現形式として、他にどのようなものがあげられますか。三つ書きなさい。

問二 仮名の書において、「全体の構成を工夫すること」とは、どのようなことですか。簡潔に書きなさい。

六 「書道Ⅰ」の授業において、次の作品を題材にして、「漢字仮名交じりの書」として創作する学習を指導することとします。この題材を、学習活動のまとめりに「こと」に第一次から第五次までの全十時間で指導する場合、どのような学習活動及び指導上の留意事項を設定しますか。学習活動のまとめりに「こと」に、第一次から第五次までそれぞれ簡潔に書きなさい。

春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

(「枕草子」による。)

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(四枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号

解答欄

六

次	学習活動	指導上の留意事項

※ 必要に応じて線を引いてもよい。